



# 第22回生研フォーラム「広域の環境・災害リスク情報の収集と利用」

日時：平成25年2月28(金) 10:00-17:00, 3月1日(金) 10:00-16:00

場所：東京大学生産技術研究所 (駒場IIリサーチキャンパス) D棟 大セミナー室Dw601

京王井の頭線 駒場東大前・池ノ上駅 徒歩10分, メトロ千代田線・小田急線 代々木上原駅 徒歩15分, 小田急線 東北沢駅 徒歩10分

駒場IIキャンパスまでの地図 (<http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/access/access.html>)

連絡先：03-5452-6411 (沢田教授室直通)

\*発表時間: 12分, 質疑応答: 3分

事前申し込みがなくてもどなたでも自由に聴講が可能です

キャンパス内に食堂とお弁当や飲み物が購入可能な生協があります。

懇親会は実費1000円を頂いております。当日の飛び入り参加も大歓迎です。

## 平成25年2月28日 (木) 1日目

9:30	受付開始	大セミナー室Dw601入り口
10:00	開会挨拶	沢田 治雄 (東大生研 ICUS 教授)
都市と環境		
10:15 - 10:30	再解析可降水量データの高解像度手法の検討	○赤塚慎(山梨県環境科学研究所)・大吉慶(JAXA)・その他1名
10:30 - 10:30	衛星観測とインベントリデータによるグローバルなPM2.5高濃度域の要因分析	○岸浩稔(東大院)・その他2名
10:45 - 11:00	衛星データを用いた大気汚染の都市間比較に関する研究	○藤川亜矢(東大院)・竹内渉(東大生研)
11:00 - 11:15	気象衛星MTSATデータによる体感気候に着目した都市の快適度評価	○岡村典子(東大院)・竹内渉(東大生研)・その他2名
11:15 - 11:30	A case study of mining caused land degradation in Inner Mongolia of China	○Tana Qian (茨城大)・Tsuguki Kinoshita(国環研)・その他1名
11:30 - 13:00	昼食 (90分)	
災害と防災		
13:00 - 13:15	高解像度衛星画像を用いた液状化地帯判別の有効性	○石川達也(東大院)・沢田治雄(東大生研)
13:15 - 13:30	RapidEye画像による液状化噴砂の検出手法の検討	○越智士郎(東大生研)・李雲慶(日本スペースイメージング)・他3名
13:30 - 13:45	位置情報付きtweetによる被害状況の逐次把握可能性の検討	○岸浩稔(東大院)・中西航(東大院)
13:45 - 14:00	点群を用いた迅速な凶化のためのパノラマ多層レンジ画像によるサーフェスマデリング	○片岡恒之輔(芝浦工大)・中川雅史(芝浦工大)
14:00 - 14:15	GeoEye-1画像と航空レーザー測量データを用いた三次元計測による変化抽出	○杉野恭平(高知工科大)・高木方隆(高知工科大)
14:15 - 14:30	被災地の道路や建築物の状況把握のための画像検索・閲覧手法	○遠藤弘隆(芝浦工大)・中川雅史(芝浦工大)・その他3名
14:30 - 14:45	福島第一原発事故後の福島県における植生の変化	○関澤諒(福島大)・市井和仁(福島大)・その他1名
14:45 - 15:00	休憩 (15分)	
森林と環境		
15:00 - 15:15	カンボジアの森林の年次変化の検出 (2001~2010)	○中園悦子(東大生研)・沢田治雄(東大生研)・その他2名
15:15 - 15:30	MODIS時系列データを用いた広域森林情報の構築II	○三塚直樹(東大生研)・中園悦子(東大生研)・その他1名
15:30 - 15:45	Observation of forest structure parameters for mapping Amazon forest	○Haruo Sawada(IIS/UT)・Mariyoshi Ishizuka(FFPRI)・other 4 persons
15:45 - 16:00	Modeling Forest Volume Using Remotely Sensed Data and Estimates Above Ground Biomass and Carbon Stocks on Sri Lankan Forest	○Chandima Subasinghe (IIS/UT)・Wataru Takeuchi (IIS/UT)
16:00 - 16:15	Monitoring growth stages of oilpalm plantations in Sarawak, Malaysia using TerraSAR-X data	○Ram Avtar(UNU-ISP/JAMSTEC)・S. Herath(UNU-ISP)・R. Suzuki
16:15 - 16:30	Volume Scatter(体積散乱)による森林パラメータ推定手法の検討	○越智士郎(東大生研)・沢田治雄(東大生研)
16:30 - 16:45	ALOS AVNIR2画像を対象とした衛星画像シミュレーション	○池澤勇太(高知工科大)・高木方隆(高知工科大)
16:45 - 17:00	日本における衛星雪被覆プロダクトの検証と雪モデルとの比較	高橋和也(福島大)・市井和仁(福島大)
17:30 - 19:00	懇親会 (セッションと同会場)	

## 平成25年3月1日 (金) 2日目

### 実利用とシステム構築

10:00 - 10:15	高頻度観測衛星データを用いた森林環境自動監視システムの開発	○澤田義人(東大生研)・越智士郎(東大生研)・その他1名
10:15 - 10:30	高頻度観測衛星データを用いた広域洪水監視システムの構築	○澤田義人(東大生研)・沖一雄(東大生研)・その他2名
10:30 - 10:45	乾燥泥炭地の再湿潤化によるCO2排出削減のためのMRV	○平山彰彦(清水建設)・澤村元一朗(清水建設)・その他1名
10:45 - 11:00	インドネシア泥炭地におけるCO2放出量の推定	○朴慧美(東大院)・竹内渉(東大生研)
11:00 - 11:15	可搬型スペクトルメータによる計測方法マニュアルの作成	○関山絢子(東大生研)・その他2名
11:15 - 11:30	夜間画像の幾何学歪補正のための人工ホットスポットの利用	○丹波澄雄(弘前大)・佐々木靖彦(弘前大)・その他2名
11:30 - 13:00	昼食 (90分)	
農業リモートセンシング		
13:00 - 13:15	Landsatデータを用いた2000-2002年の北朝鮮の水田面積推定	○岡本勝男(農環研)・鈴木優太(豊橋技大)
13:15 - 13:30	東南アジアを対象とした水田モニタリングに基づく短期米収量推定手法の開発	○細矢雄士(東大院)・竹内渉(東大生研)
13:30 - 13:45	MODISとAMSR-Eを用いた全球の水田農事歴のマッピング	○城内宏海(東大院)・竹内渉(東大生研)
13:45 - 14:00	LバンドSARの農業分野での使い道~ALOS-2に向けて文献レビュー	○山田康晴(農工研)
14:00 - 14:15	マルチセンサのデータを用いた営農支援システムの構築(DMC, MODIS, NPP VIIRS)	○若森弘二(有人宇宙システム)
14:15 - 14:30	リモートセンシングデータと作物モデルの同化による収量予測の高精度化	○牧雅康(京大工)・本間香貴(京大農)・その他1名
14:30 - 14:45	休憩 (15分)	
衛星と測位		
14:45 - 15:00	GPSと準天頂衛星みちびきL1-SAIFの位置精度の比較	○徳永光晴(金沢工大)・長岡雄太(金沢工大)
15:00 - 15:15	現地調査における位置情報の完全性保証手法	○稲葉暉(芝浦工大)・中川雅史(芝浦工大)
15:15 - 15:30	屋内環境における3次元取得のためのレジストレーション	○落合健太(芝浦工大)・中川雅史(芝浦工大)
15:30 - 15:45	測位システム混合環境における測位データの選択手法	○中西杏奈(芝浦工大)・山田豊(東京海洋大)・その他1名
15:45	閉会挨拶	竹内 渉 (東大生研 人間・社会系部門 准教授)